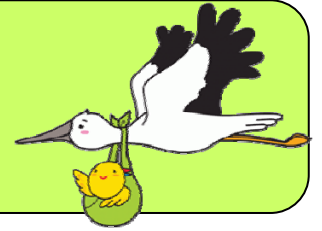


ひょうご

子ども未来通信10月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000008.html

「ひょうご縁結びプロジェクト」がスタート

若者の出会い・結婚支援の更なる充実を図るため、「ひょうご縁結びプロジェクト」が今秋からスタートします。

プロジェクトでは、県民局単位に地域出会いサポートセンターを新たに設置し、こうのとり出会いサポーターを配置する他、希望者にはサポーターによるお見合い紹介を行うなど一層の出会い・結婚支援に取り組みます。

事業開始に先立ち、井戸知事は「成婚数をさらに増やすには、仲人的な機能が必要。26名の出会いサポーターが成果を挙げて



記者会見を行う井戸知事

くれることを期待している」と述べました。

お見合い紹介を受けられる「はばタン会員」（年会費3千円）は、まもなく募集開始予定です。

(問) 県少子対策課 078-362-4232
ひょうご出会いサポートセンター 078-891-7415
(兵庫県青少年本部内)

沼島で出会いイベントを開催(9/11)

県の出会い支援事業のPRに取り組む淡路地域こうのとり大使の企画・運営による縁結び交流会が南あわじ市沼島で開催され、島内男性22名、島外女性20名が参加しました。

沼島港では、地元の子どもたちが“沼島子ども太鼓”で出迎え、地域を挙げて歓迎。

その後、公民館に移動し、自己紹介の後、アジの刺身づくりに挑戦しました。魚の調理では、漁師の男性が女性にさばき方を教えるシーンも。また、3隻の漁船で周囲約10kmの島を巡り、海中に立つ島のシンボル“上立神岩”の神話を地元男性が熱心に解説するなど、参加者らは、沼島の自然を楽しみながら交流を深めました。



(問) ひょうご出会いサポートセンター 078-891-7415
(兵庫県青少年本部内)

県老人クラブ連合会と子育て応援協定締結

9月11日、兵庫県老人クラブ連合会(三澤泰士会長)と県が子育て応援に関する協定を締結しました。

同連合会は、まちの子育てひろばへの支援や、登下校の見守りなど地域の子育て支援活動を展開しており、今回の協定締結にあたり、県との協働による「地域“孫育て”推進事業」への参画など、更なる取り組みの充実が表明されました。

井戸知事からは、「“地域祖父母”として、これからもより一層の子育て支援活動の推進を期待したい」とエールが送られました。



(問) 県少子対策課 078-362-4184

NPO と行政の子育て支援会議が「NPO 大懇談会」を開催(9/18)



子育て支援NPOや市町・県など170団体で構成される同会議が9月18日、神戸市内で大懇談会を開催し、県内の子育て支援関連NPOと行政関係者等約100人が参加しました。

事業受託団体による活動紹介と、NPO法人キッズネスト他5団体による活動報告の後、行われたグループ討議では、日頃の活動での悩みや行政と共に取り組みたい事等について、活発な意見が交わされました。

参加者からは「様々な団体や行政の方と交流し、多くの情報を得ることができた」などの感想が寄せられ、それぞれの活動の充実のための有意義な時間となりました。

(問) 県少子対策課 078-362-4184

～農林水産体験ファーム～ 小中学生が農業・漁業体験



県では、次代を担う小中学生を対象に、農林水産業に対する興味を深めてもらう「農林水産体験ファーム」を実施しています。

9月には、姫路市夢前町で野菜づくり体験プログラムが開催され、参加した子どもたちは収穫に向け、土を掘り起こし畝をつくり野菜の種まきに挑戦しました。



豊岡市竹野町では、漁業体験として地曳網や干物づくりが行われ、網にかかった多くのハマチやタイ、アジ、キスに、子ども達は大喜びでした。

12月には林業体験、2月には農業体験の実施を予定。詳細は県HP (http://web.pref.hyogo.jp/af02/af02_000000001.html)

(問) 県総合農政課 078-362-3444

待機児童数 全国で26,275人に

厚生労働省は、9月6日、平成22年4月1日現在の全国の保育所待機児童数が26,275人となったことを発表しました。

兵庫県は997人で、神戸市423人、西宮市310人、明石市88人などとなっています。

これまでも県内市町では、保育所の定員増を図ってきましたが、今年度は、安心こども基金を活用して、2,500人の保育所定員増や、保育所と幼稚園機能をあわせもつ認定こども園(県内31園(全国第4位)、全国532園)の整備も積極的に進めています。

一般事業主行動計画の策定はお済みですか？

平成23年4月より策定義務の対象が従業員数101人以上の事業主に拡大されます。

従業員の仕事と子育ての両立を支援するための雇用環境の整備等について事業主が策定する「一般事業主行動計画」の策定義務が、平成23年4月から従業員数101人以上の事業主に拡大されます。(現在は301人以上が対象)

一般事業主行動計画の策定に関する相談・支援については、兵庫労働局雇用均等室、ひょうご仕事と生活センターのほか、次世代育成支援対策推進センター(兵庫県・尼崎・姫路の各経営者協会、兵庫県中小企業団体中央会)でも行っていますので、ぜひお問い合わせください。

(問) 兵庫労働局雇用均等室 078-367-0820

10月は「ひょうご食育月間」です！

子どもの健やかな成長には、家族や友達と食卓を囲み、楽しくおいしく健康的な食事をするのが大切です。

「ひょうご食育月間」をきっかけに、食べ物を通じて実りの季節を感じ、自然の恩恵に感謝して、みんなで食育活動に取り組みましょう。

また、県民のみなさんの食育への取り組み状況を把握するための「ひょうご食育アンケート」を実施しています。

詳しくは、県HP (http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw13/hw13_000000055.html) (問) 県健康増進課 078-362-3249



参加者募集

ウォーク・チャリティーウォーク&ファンフェスティバル

在日米国商工会議所関西支部では、働く女性たちを支援する国際色豊かなチャリティーイベントを開催します。

県からは「動く・こどもの館号」による工作教室やパネルシアターなど、親子で楽しめるイベントを行いますので、ぜひご参加ください。

- ◆日時 平成22年10月16日(土)10:30~16:00
- ◆場所 神戸メリケンパーク
(神戸市中央区波止場町)
- ◆チケット代 ・19歳以上 2,000円
・6~18歳 1,000円
・5歳以下無料
(収益金は働く女性を支援する団体へ寄付されます。)
- ◆問合せ 在日米国商工会議所関西支部
電話 06-6345-9880
<http://www.accjkansaiwalkathon.com>



子育て応援ネット全県大会

いち早く子ども等のSOSをキャッチすることにより、児童虐待を防止し、地域ぐるみで子どもを育てていくことをみんなで考えます。

- ◆日時 平成22年10月22日(金)
13:00~15:40
- ◆場所 兵庫県公館大会議室
(神戸市中央区下山手通4丁目4番1号)
- ◆内容 ・講演(弁護士の若佐嘉彦さん)
・事例報告
[県児童養護連絡協議会長 吉田隆三さん
養父市子育て支援協力隊代表 山崎たみ子さん など]
- ◆申込 氏名、電話、市町名に「子育て応援ネット参加希望」を記載の上以下まで
FAX 078-362-3011
電子メール shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp
- ◆締切 10月19日(火)
- ◆問合せ 県少子対策課 電話 078-362-4185



まちの寺子屋師範塾 (10月に申し込める主な講座)

県内各大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催します。(受講料:無料)

兵庫大学

子どもの未来を育む
心理学

発達障害を理解するために、しつけの心理学、やる気を引き出す子育て術など

- ◆開催日: 11/18, 11/25, 12/2, 12/9, 12/16
(いずれも木曜日)
- ◆募集期間: 9/1(水)~10/30(土)
- ◆問合せ・申込: 079-427-9551
- ◆募集人員: 50名(先着順)

神戸常盤大学 神戸常盤大学短期大学部

子育てと健康

家庭のあり方と子育て支援、超音波でお腹の中を覗いてみよう 脂肪肝って?、新型インフルエンザなどの子どもの感染症予防 など

- ◆開催日: 11/20(土)
- ◆募集期間: 10/1(金)~11/10(水)
- ◆問合せ・申込: 078-611-1821
- ◆募集人員: 80名

講座を開催した各大学では順次修了式が行われています。



神戸松蔭女子学院大学



近大姫路大学



神戸山手大学

ひょうご仕事と生活センター開設1周年記念フォーラム

県が全国に先駆け、「仕事と生活のバランス」の推進拠点として昨年設立した「ひょうご仕事と生活センター」の開設1周年記念フォーラムを開催します。

- ◆日時 平成22年10月5日(火) 14:00~16:30
- ◆場所 ラッセホール2F ローズサロウン(神戸市中央区中山手通4-10-8)
- ◆内容 ①センター開設1周年記念座談会(知事、連合兵庫会長、県経営者協会会長、センター長)
②女性メンバーによる鼎談 ③記念講演(田中裕子(株)夢工房社長)
- ◆申込 http://www.hyogo-wlb.jp/modtreepage01_1264/ に掲載の「参加申込書」に必要事項を記入の上、FAX(078-381-5288)でお申込ください。
- ◆問合せ ひょうご仕事と生活センター 電話 078-381-5277



~仕事と子育ての両立に向けた【仕事と子育て】セミナー&カウンセリング~

スムーズな再就職など、仕事と子育ての両立に向けたセミナーを開催します。

- ◆日時 平成22年10月30日(土)
セミナー10:00~11:30
カウンセリング①13:00 ②14:10 ③15:20
- ◆場所 県立男女共同参画センターセミナー室(神戸市中央区東川崎町1-1-3)
- ◆申込 http://web.pref.hyogo.jp/press/press_ac021_00008229.html に掲載の申込用紙に必要事項を記載し、FAX・郵送・来館にてお申込ください(締切10/22、先着順(セミナー30名、カウンセリング6名))
※ カウンセリングお申し込みの方には、センターより電話で受付の可否をご連絡します。
- ◆問合せ 県立男女共同参画センター 電話 078-360-8550

TAJIMADOMEキッズフェスティバル

親子で楽しむステージイベントをはじめ、ちびっ子フリーマーケットや身の回りの物を使った工作コーナーなど、楽しい催しがいっぱい。但馬ドーム秋祭りです。みなさんそろってお出かけください。



- ◆日時 平成22年10月17日(日) 10:00~16:00
- ◆場所 県立但馬ドーム 多目的グラウンド(豊岡市日高町名色88-50)
- ◆申込 不要(入場料無料)
- ◆問合せ 県立但馬ドーム 電話 0796-45-1900

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

本町五六商店街協同組合(洲本市)

洲本市の本町五六商店街協同組合では、コモード56商店街プラチナプラザに、親子がくつろげるたまり場として「子育てほっとステーション」を開設しました。

県の助成制度「子育てほっとステーション設置事業」を活用して空き店舗を改装し、おむつ交換用のベビーベッドや授乳室、給湯設備のほか、おもちゃを置いたキッズスペースを整備したもので、今回の改装で若い親子連れも訪れるようになり、商店街の活性化にもつながっています。

また、同ステーションでは、毎月第1土曜日にキーホルダー作りなどの工作教室も開催しており、好評を得ています。

同ステーションの利用時間は10~17時。(木曜定休)

(問) コモード56商店街事務所 0799-22-8253



※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部こども局少子対策課):
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご子育て応援メールも好評配信中です!

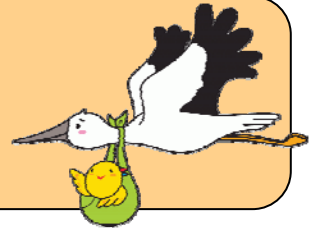
子育てに役立つ身近な情報を月3~4回配信しています。
regist@magazine.hyogo-kosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。



ひょうご

子ども未来通信11月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



子育て応援ネット全県大会(10/22)

子どもの見守り・SOSキャッチ活動の取組強化へ

県地域女性団体ネットワーク会議と県等による子育て応援ネット全県大会が県公館で開催され、子育て家庭応援推進員等450名が参加しました。

養父市子育て支援協力隊の山崎会長からは、乳児健診時の赤ちゃんの一時預かりの実施などの取組事例が発表されたほか、吉田県児童養護連絡協議会長の報告、岩佐嘉彦弁護士による基調講演が行われました。

大会の途中、井戸知事も駆けつけ、「今後とも地域ぐるみでの子育て支援にご尽力を」と感謝とエールを送りました。



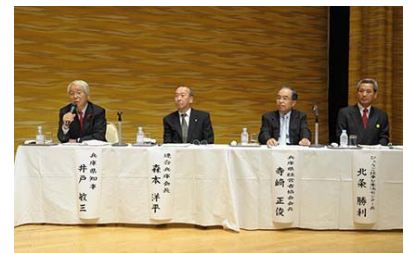
(問) 県少子対策課 078-362-4185



ひょうご仕事と生活センター1周年記念フォーラム(10/5) 政労使女性三者会議を立ち上げ

同センターは、ワンストップ相談(1032件)や相談員派遣(677件)、研修の企画・実施(131件)(いずれもH21実績及びH22.9月末までの件数)など、企業の仕事と生活の調和に向けた取組支援を行っています。

フォーラムでは、井戸知事、森本連合兵庫会長、寺崎県経営者協会会長、北条センター長による座談会や(株)夢工房の田中社長による講演が行われました。



また、今回の1周年記念フォーラムにあわせ、清原県理事、永井連合兵庫女性委員会委員長、有光県経営者協会副会長出席のもと、「政労使女性三者会議」を立ち上げました。

今後は三者が協働し、働く女性の仕事と生活の調和に向けた取組を積極的に進めていくこととしています。



兵庫県保育大会を開催(10/23)

(社)兵庫県保育協会と県等は、地域の子育て家庭に対する支援や保育の資質向上を目的とする同大会を洲本市内で開催し、保育関係者や子育て中の保護者ら約700人が参加しました。

保育士らが創意工夫して作成した絵本や玩具等の展示の他、優秀作品の表彰やスポーツコメンテーター・奥野史子氏の講演が行われ、井戸知事は「三世代世帯は子どもが3人以上いる割合が高いというデータがある。家族に加え、地域や保育所など、豊かな人間関係の中で子どもたちが育っていくことが少子対策の観点からも重要」と訴えました。



(問) 県児童課 078-362-3199

(問) ひょうご仕事と生活センター078-381-5277

オレンジボンキャンペーン

11月は児童虐待防止推進月間です



11月の「児童虐待防止推進月間」にあわせ、民間団体・県・市町は、協働して児童虐待に取り組むオレンジボンキャンペーンを展開し、普及啓発を進めます。

11月6日(土)に開催されるヴィッセル神戸のホームゲームでは、観戦者に啓発チラシ、グッズを配付するほか、試合開始前に選手からの虐待防止メッセージを放映します。

また、11月27日(土)には県医師会館で児童虐待防止県民フォーラムを開催します。

(問) 県児童課 078-362-3182

子育て応援協定企業747社・28団体に

家庭と仕事の両立ができる職場環境整備に取り組む企業と県が協定を結ぶ「子育て応援協定」の締結式が26日午後、県公館で開催されました。



協定締結企業からは、インターンシップの受け入れやひょうご子育て応援の店への登録、地域の子ども会等のイベントへの参加・協力等、社内外での子育て支援の取組事例が発表されました。

(問) 県少子対策課 078-362-4184

「家族の日」写真コンクール 受賞作品が決定

家族のきずなを深めるきっかけづくりを進める「家族の日」運動の一つ、第3回「家族の日」写真コンクールの受賞作品が決定しました。

今回のテーマは「家族で過ごすひととき」で、118人353点の応募があり、知事賞には、家族三世代の午後のひとときを捉えた上里悦子さんの「和みの時」が選ばれました。



知事賞受賞作品『和みの時』

11月14日県公館で開催される「ひょうご家庭応援県民大会」では、表彰式と受賞作品の展示が行われます。

ひょうご家庭応援県民大会の参加者を募集しています

日時：平成22年11月14日(日) 13:00~15:30
 場所：兵庫県公館(神戸市中央区下山手通4-4-1)
 申込：県男女家庭室(Tel 078-362-3169)
http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000433.html

児童虐待防止 24時間ホットライン

相談窓口	電話	相談日時
中央こども家庭センター	078(921)9119	24時間
西宮こども家庭センター	0798(74)9119	
川西こども家庭センター	072(759)7799	
姫路こども家庭センター	072(294)9119	
豊岡こども家庭センター	0796(22)9119	
神戸市こども家庭センター	078(382)2525	8:45~17:30
(夜間休日相談)	078(382)1900	17:30~翌 8:45

「安心こども基金」が積み増し・延長されます

政府が、子どもや子育てを社会全体で支えるために創設した「安心こども基金」が、このたび1,000億円積み増しされ、事業実施期限も平成23年度末まで延長されることとなりました。

これを受け、県でも市町とともに基金を活用した保育所の整備や、地域の実情に応じた子育て支援の拡充など、子どもを安心して育てることのできる体制整備に取り組めます。

育てる男が、家族を変える、社会が動く。

国がイクメンプロジェクトを展開



現在、約3割の男性が「育児休業を取得したい」と希望している一方で、実際の取得率は1.72%にとどまっています。

法改正により「パパ・ママ育休プラス」制度の導入等をはじめとする新制度が2010年6月30日に施行され、男性が育児休業を取得しやすい環境づくりへと大きな一歩を踏み出しています。

「イクメンプロジェクト」はこのような制度見直しと合わせ、社会全体で、男性がもっと積極的に育児に関わることができるよう、厚生労働省が主体となってスタートしたプロジェクトです。

今後、イクメンサポーターの登録や体験談のWebでの公開、参画企業との連携によるイベントの実施などが予定されています。

11/12～11/25はDV防止週間です！

11月12日から25日（女性に対する暴力撤廃国際デー）までの2週間、「女性に対する暴力をなくす運動」が実施されます。

この運動は、国・県・関係団体との連携、協力の下、配偶者等からの暴力など、女性に対する暴力の問題に関する取組を一層強化するとともに、女性の人権の尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることを目的とするものです。

配偶者等からの暴力で悩んでいる方、周囲で気づかれた方は下記機関へご相談ください。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

■配偶者暴力支援センター

相談窓口	電話	相談日時
県立女性家庭センター	078(732)7700	毎日(9:00～21:00)
神戸市女性のためのDV相談室	078(382)0037	火～日(9:00～17:00)
伊丹市DV相談	072(780)4327	月～金(9:00～17:30)

■DVを含む女性相談

相談窓口	電話	相談日時
県警本部ストーリーカー・DV相談	078(371)7830	毎日(24時間)
県立男女共同参画センターイーブン 女性のためのやなみ相談	078(360)8551	月～土 (9:30～12:00・13:00～16:30)
法務局女性の人権ホットライン	0570(070)810	月～金(8:30～17:15)

(問) 県児童課 078-362-3198

若年者の正規雇用を支援する奨励金を国が創設

若年者等正規雇用化特別奨励金

年長フリーター等や内定を取り消された学生等を雇い入れた事業主に対し、奨励金が支給されます。

〈支給額〉

対象者を雇い入れた場合、中小企業 100万円 大企業 50万円

3年以内既卒者（新卒扱い）採用拡大奨励金

大学等を卒業後3年以内の既卒者を正規雇用した事業主に対し、奨励金が支給されます。

〈支給額〉

正規雇用での雇入れから6ヵ月経過後に 100万円

3年以内既卒者トライアル雇用奨励金

卒業後も就職活動中の新規学卒者を、まずは有期雇用(原則3ヶ月)で雇用し、その後、正規雇用した事業主に奨励金が支給されます。

〈支給額〉

有期雇用期間(原則3ヵ月):対象者1人につき月額 10万円

有期雇用終了後の正規雇用での雇入れ:対象者1人につき 50万円

<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/josei/kyufukin/c-top.html>

こどもの健康週間大会

こどもの健康について関心を高めるため、10月23日に丹波の森公苑で開催し、約300名が参加しました。

会場では、兵庫県立大学の永井准教授が、最近の10代女性の痩せについて「成長期の誤ったダイエットは骨づくりや貧血に影響。バランスのとれた3度の食事と運動が基本」と講演したほか、小児科へのかかり方をわかりやすく説明した人形劇が行われました。

また、丹波市栄養士会による食育に関する取組の展示や、歯科医師等による健診や歯磨き指導などが行われ、親子で正しく食べることの大事さを体験しました。



(問) 県健康増進課 078-362-3250

季節の料理レシピを掲載した食育啓発冊子を作成

県では、楽しく和やかな家族団らんの場づくりをすすめ、食を通じた地域や家庭の子育てカアップを図るため、兵庫県いずみ会の協力を得て、行事食や郷土食の継承を啓発する冊子を作成しました。

今後は、同冊子を活用した食育活動を推進していきます。お問い合わせは下記まで。



(問) 県健康増進課 078-362-3249

参加者募集

コウトリ翔る但馬まるごと感動市 ザ・コンカツ in たじま

親子連れで楽しめる各種イベントのほか、新企画として婚活イベントを実施します。

◇日時：11/13(土)、14(日)(両日とも10:00~16:00)
(ザ・コンカツ in たじま は11/13 14:10~15:40)

◇場所：県立但馬ドーム(豊岡市日高町名色88-50)

◇内容：ステージイベント(ザ・コンカツ in たじま、絵本読み聞かせ大会ほか)、食と物産の出店、3ひろばや県政に関するPRコーナーなど

◇問合せ：但馬まるごと感動市実行委員会ステージイベント担当
(但馬県民局県民室地域企画課内)(Tel 0796-26-3616)

児童虐待防止県民フォーラム

児童虐待防止月間にあわせ、子どもを虐待から守る取組を考えます。

◇日時：11月27日(土) 14:00~16:30

◇場所：兵庫県医師会館2階大会議室
(神戸市中央区磯上通6-1-11)

◇内容：「児童虐待防止対策の現状と課題」についての基調講演や実務者によるパネルディスカッション

◇申込：県児童課(Tel 078-362-3182)

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

米国商工会議所関西支部(ACCJ KANSAI)

ウォーカーソンチャリティーウォーク&ファンフェスティバル(10/16)

在日米国商工会議所関西支部主催の同チャリティーイベントが10月16日、神戸メリケンパークで開催されました。

県からは、「こどもの館」、「ひょうご仕事と生活センター」、「女性チャレンジひろば」等がブースを出展し、取組をPRした他、「NPOと行政の子育て支援会議」ブースでは、子どもたちがハロウィンにちなんだ、かぼちゃ釣りや帽子づくりを楽しみました。

(問) 米国商工会議所関西支部 06-6345-9880



NPO法人生涯学習サポート兵庫(姫路市)

NPO法人生涯学習サポート兵庫(山崎清治理事長)は、中・西播磨地域における「NPOと行政の子育て支援会議」の運営事業を受託し、地域のNPOの子育て支援活動やネットワーク化の支援に取り組んでいます。

11月には、子どもへのおもちゃの与え方やママ同士の心をつなぐテクニックなど、子育てや子育て支援の場で役立つ「子育て支援でゼツタイ得する! ネタ・ヒント見本市」を4回にわたって開催します。



(問) 生涯学習サポートひょうご 079-230-0661

◇ 頑張る企業 ◇

専門知識を活かして子どもたちの食育をサポート 株式会社小倉屋柳本(神戸市)

<http://www.maruyanagi.co.jp/index.html>

(代表者:柳本一郎 事業内容:食品製造業)

同社は、社内に「食育支援推進室」を設置し、子ども向け食育料理教室「キッチンチャレンジ」の開催や、地域の食育イベントへの参加など、食に関する専門知識を活かして、子どもたちの豊かな感性と味覚を育む活動を展開しています。

また、県と子育て応援協定を締結し、「NPOと行政の子育て支援会議」主催の「子育て支援メッセ」に食育ゲームのブースを出展するなど、行政やNPOと協働した子育て支援にも積極的に取り組んでいます。



※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部子ども局少子対策課)：
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご子育て応援メールも好評配信中です!

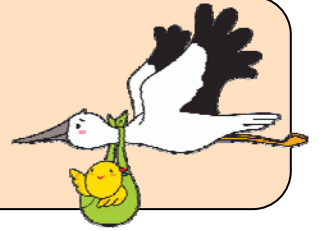
子育てに役立つ身近な情報を月3~4回配信しています。
regist@magazine.hyogo-kosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。



ひょうご

子ども未来通信12月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」で県内11団体を顕彰

ひょうご仕事と生活センターは、「仕事と生活のバランス」推進の先進的な取り組みを実施している11団体の表彰式を11月17日県公館で開催しました。

井戸知事は「仕事中心社会が少子化の原因にもなっている。創意工夫による仕事の効率化は、モラルの向上、生産性の向上による企業の業績向上という好循環にもつながる」と挨拶しました。

その後、コベルコシステム(株)、医療法人社団豊繁会近藤病院、山陽特殊製鋼(株)の3団体による事例発表が行われました。



(間) ひょうご仕事と生活センター
078-381-5277

受賞企業 (50音順)	取組内容
(株)関西スーパーマーケット	選択幅の広い変形労働時間制を活用
(株)ケイテック	あいさつプロジェクトから始まった意識改革
(株)神戸デジタル・ラボ	風通しの良い職場づくりで男性育休取得3人実現
生活協同組合コープこうべ	多彩な両立支援策を活用
コベルコシステム(株)	社員自主組織や社員満足度調査で働きやすさを追求
医療法人社団豊繁会近藤病院	トップ自らが始めるコミュニケーション活性化
山陽特殊製鋼(株)	鉄鋼業の三交替現場で女性が活躍
住友電気工業(株)伊丹製作所	メリハリのある働き方の徹底で生活も充実
富士通(株)	育休体験談の公開で、男性の育休取得者続々誕生
P&Gジャパン(株)	「ベターワーク・ベターライフ」で社員がいそいそ活躍
医療法人明倫会宮地病院	院長と職員全員との対話で必要な対応がケースバイケースで実現

ひょうご縁結びプロジェクト 12/1から地域出会いサポートセンターがオープン 個別のお見合い紹介を行う「はばタン会員」も大募集!

県では、出会いサポート会員の新規登録を呼びかけ、会員の中から個別お見合い紹介を希望する「はばタン会員」(年会費3,000円)を募集中です。現在登録すると24年3月末まで有効です。



はばタン会員へのお申込を希望される方は最寄りの各出会いサポートセンターまでお問合せください。

名称	住所	電話
神戸出会いサポートセンター	神戸市中央区下山手通 4-16-3 県民会館3階	078-381-6820
阪神南出会いサポートセンター	尼崎市昭和通 2-6-68 尼崎市中小企業センター6階	06-6481-7370
阪神北出会いサポートセンター	宝塚市逆瀬川 1-11-1 アピア2 1階	0797-26-7351
東播磨出会いサポートセンター	明石市本町 2-3-30 明石庁舎 1階	078-920-9337
北播磨出会いサポートセンター	加東市社 1126-1 やしろショッピングパークBio2階	0795-38-8022
中播磨出会いサポートセンター	姫路市下寺町 43 姫路商工会議所 新館3階	079-240-7005
西播磨出会いサポートセンター	上郡町光都 3-7-1 播磨科学公園都市 光都サービスセンター	0791-58-1311
但馬出会いサポートセンター	養父市八鹿町国木 594-10 但馬長寿の郷 研修棟 1階	079-662-7701
丹波出会いサポートセンター	丹波市柏原町柏原 5600 丹波の森公園 1階	0795-78-9130
淡路出会いサポートセンター	洲本市塩屋 2-4-5 洲本総合庁舎 1階	0799-24-2717

受付時間は火～土 9:00～17:15
北播磨のみ火～土 10:00～18:15

(間) ひょうご出会いサポートセンター 078-891-7415

但馬まるごと感動市

「ザ・コンカツinたじま」を開催

毎年恒例の但馬まるごと感動市が11/13、14の2日間、県立但馬ドームで開催されました。



井戸知事もあいさつに立った新企画「ザ・コンカツinたじま」では、男女42名が参加し、ゲームを交えた自己紹介などを行い交流を深めました。

また、まちの子育てひろばなどのパネル展示や、絵本作家の永田萌さんによる大型絵本の読み聞かせなども開催され、大勢の親子連れらが楽しみました。



(間) 但馬県民局県民室 0796-26-3641

新ひょうご子ども未来プラン推進協議会

県では、今年3月に「新ひょうご子ども未来プラン」(22~26年度)を策定し、総合的な少子対策に取り組んでいます。このプランのフォローアップを行う「新ひょうご子ども未来プラン推進協議会」(会長:甲南大学 森茂起教授)が11月10日県公館で開催されました。

冒頭、金澤副知事から「女性人口の減少など少子対策は待たなしの課題。関係団体の皆様の協力を得ながら積極的に取り組んでいきたい」と挨拶。

各委員からは、「子どもは生まれた時から地域の一員であり、子どもに役割を与えることで地域の中で育っていく」「虐待から子どもを守ることが将来的には少子対策にもつながっていく」など活発な意見交換が行われました。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

平成22年度 第2回 県・市町少子対策協議会議 (11/4)

県と市町が少子対策に関する情報を交換

県と市町の少子対策・子育て支援に向けた取組施策の情報共有・意見交換を目的とした会議が開催され、市町関係者ら約100人が参加しました。

今年5月に引き続き2回目となる同会議では、安心こども基金の延長や子ども・子育て新システムなど最新の国の動向、ひょうご縁結びプロジェクト等県の新たな施策について説明が行われました。



また、相生、加古川、豊岡、養父の各市から事例発表が行われました。

相生市	3歳未満の幼児のいる全家庭を訪問する家庭支援スタッフ訪問事業
加古川市	学校・幼稚園・保育園との連携による子ども虐待の早期発見
豊岡市	妊娠・出産にかかる不安解消等を図る「マイナス1歳からの子育て支援」
養父市	独身男女の出会い・結婚を支援する若者の出会い創出事業

(問) 県少子対策課 078-362-4183

子どもの生活習慣づくり行動指標を策定しました

県では、子どもの健やかな育ちに向けた生活習慣(睡眠・食・あそび)づくりの浸透・定着を図るため、「子どもの生活習慣づくり行動指標策定委員会(委員長:神戸大学大学院 伊藤篤教授)」による検討を経て、日常生活において親子が一緒に実践できる10項目の行動指標を策定しました。

現在実施している6か所のモデル校・園(保育所2か所、幼稚園1か所、小学校3か所)の取組成果の事例発表や親子向け実践リーフレットの作成・配布など、広く普及・浸透を図っていきます。

~子どもの生活習慣づくり行動指標~

- 1 <睡眠> ねる前には心も体もゆったりさせよう
- 2 <睡眠> ぐっすり眠って すっきりめざめよう
- 3 <睡眠> 「行ってきます」の1時間前に起きよう
- 4 <食> 朝食を毎日食べよう
- 5 <食> 毎日うんちをしよう
- 6 <あそび> 体を使ったり五感を働かせたりして遊ぼう
- 7 <あそび> 家族や友だちといっしょに遊ぼう
- 8 <あそび> テレビやゲームは決めた時間を守ろう
- 9 <食> 栄養バランスに気をつけよう
- 10 <食> 家族といっしょに楽しく食事をしよう

(問) 県少子対策課 078-362-4232

児童虐待防止に向けた普及啓発に取り組んでいます



11月は「児童虐待防止推進月間」として、民間と県・市町が協力して、様々な啓発普及活動を実施するオレンジリボンキャンペーンを各地で実施しました。



11月6日には、ホームスタジアム神戸の来場者に対して、スクリーンからメッセージを発信し虐待防止を呼びかけたほか、27日には、約200名が参加して「児童虐待防止県民フォーラム」を開催しました。基調講演を行った同志社大学の立木茂雄教授は、「虐待を未然に防止するには、SOSをキャッチする見守り体制を強化することが大切」と訴えました。

子育て家庭が発する気になるSOSをキャッチしたら、お近くのこども家庭センターまで連絡ください。

児童虐待防止 24時間ホットライン

相談窓口	電話	相談日時
中央こども家庭センター	078(921)9119	24時間
西宮こども家庭センター	0798(74)9119	
川西こども家庭センター	072(759)7799	
姫路こども家庭センター	072(294)9119	
豊岡こども家庭センター	0796(22)9119	
神戸市こども家庭センター	078(382)2525	8:45~17:30
(夜間休日相談)	078(382)1900	17:30~翌 8:45

(問) 県児童課 078-362-3182

ひょうご家庭応援県民大会

今年度の「ひょうご家庭応援県民大会」がわくわく親ひろば兵庫感動体験フェアとして、11月14日県公館で開催され、約300人が参加しました。

「家族の日」写真コンクールの表彰に続いて、ひょうご笑いの会事務局長を務め



る三遊亭楽団治さんが「笑顔で子育て」と題して講演を行い、「“きょういく”は『競育』や『恐育』ではなく、ともに子どもを育む『協育』や『共育』によって心に響く『響育』を」と呼びかけました。

そのほか、県看護協会による「子どもが病気になった時の正しい知識や対応方法」の解説や、NPO法人生涯学習サポート兵庫による「三世代ふれあいあそび」を参加者全員で行うなど、会場は笑顔と熱気に包まれていました。

(問) 県男女家庭室 078-362-3169

ご存知ですか？

子どもの安全確保に取り組む「まちづくり防犯グループ」

県では、子どもの安全確保などの地域安全まちづくり活動を行うために、自治会やPTAなどが中心となって結成した「まちづくり防犯グループ」を支援しており、現在、県内で2,360グループが活動しています。

特に今年度は、グループの防犯活動の充実・強化を行うため、安心こども基金を活用し、ジャンパーや帽子、自転車シート、合図灯など10品目の活動用品を配布しました。

まちづくり防犯グループへの参加やグループ登録については、お気軽に各県民局県民協働課までご相談ください。



(問) 県地域安全課 078-362-3225

環境教育の実践発表 グリーンスクール表彰式を開催(11/2)

先進的な環境教育を行っている学校の実践発表大会と特色ある優れた実践校を表彰する「グリーンスクール」の表彰式が11月2日、県公館で開催されました。



表彰式では、里山活動を通じた人間と自然のかかわりを学んでいる宝塚市立逆瀬台小学校や、週1回の水質調査による環境改善の方策を学んでいる県立尼崎西高等学校など、小学校6校、中学校1校、高校3校の計10校が表彰されました。

【小学校】

宝塚市立逆瀬台小学校	川西市立牧の台小学校
三田市立本庄小学校	姫路市立香呂南小学校
たつの市立小宅小学校	篠山市立西紀小学校

【中学校】

明石市立江井島中学校

【高等学校】

兵庫県立篠山産業高等学校東雲校	兵庫県立尼崎西高等学校
兵庫県立山崎高等学校	

(問) 県義務教育課 078-362-3772

子育て応援協定に基づく協働事業 県生活衛生同業組合が親子料理教室を開催

県飲食業生活衛生同業組合は、県との子育て応援協定に基づく協働事業として「親子で楽しむ料理教室」を神戸市中央区で開催し、500人を越える応募の中から選ばれた4歳以上の親子32人がシュークリーム作りに挑戦しました。



プロのパティシエによる丁寧な指導のもと、親子が力を合わせて完成させたシュークリームは味も見た目も素晴らしく、その出来栄えにみんな大満足でした。

プロのパティシエによる丁寧な指導のもと、親子が力を合わせて完成させたシュークリームは味も見た目も素晴らしく、その出来栄えにみんな大満足でした。

(問) 県少子対策課 078-362-4184

参加者募集

ひょうご子育て施設コラボネット地域会議 講演会 「こどもの睡眠と発達」

講師 県立リハビリテーションセンター中央病院
子どもの睡眠と発達医療センター センター長 三池輝久氏

睡眠は子どもの心とからだの成長にとって大切です。子どもの睡眠と成長について学んでみませんか。(参加無料)

日時	場所
12/15(水) 13:30~15:00	加古川産業会館 4階ホール (加古川市加古川町寺家町45)
12/18(土) 13:30~15:00	兵庫県民会館 10階福の間 (神戸市中央区下山手通4-16-3)
1/15(土) 13:30~15:00	姫路職員福利センター3階大会議室 (姫路市北条1-98)

◇申込：各開催日の1週間前までに氏名、住所、参加日を記入の上、県立こどもの館へ郵送またはFAX(詳細は以下HP参照)

<http://www.kodomonoyakata.jp/pdf/kouenkai.pdf>

子育て支援ひょうごフォーラム 「予防接種で子どもを守ろう！小児科医が語る予防接種のあれこれ」

ワクチンで防げる病気について小児科医が分かりやすく語ります。(参加無料)

◇日時：平成22年12月11日(土) 14:00~16:00

◇場所：兵庫県医師会館 2階大会議室
(神戸市中央区磯上通6-1-11)

◇内容：基調講演「子どもの病気と予防接種」や「ワクチンで防げる病気について」のパネルディスカッション

◇申込：兵庫県医師会乳幼児保健係(詳細は以下HP参照)
<http://www.hyogo.med.or.jp/topics/index.html#topics24>

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

NPO 法人東灘地域助け合いネットワークが 子育てほっとステーションを開設

NPO 法人東灘地域助け合いネットワーク(村山メイ子理事長)は、「子育てほっとステーション『ふらり』」(神戸市東灘区)を阪神御影駅に隣接する御影市場旨水館内に、県の助成を受けて22年3月にオープンしました。

買い物途中に気軽に利用できる授乳兼おむつ交換スペースを備え、店主や高齢者なども運営に参加するなど、地域ぐるみで子育てを応援しています。毎週月曜日にはベビーマッサージ、毎週木曜日には親子のためのリズム遊びを定期的で開催しています(要予約)。

利用できるのは、毎日10:00~17:00(水曜・日曜を除く)です。ぜひご利用ください。



(問) NPO 法人東灘地域助け合いネットワーク
078-843-4029

◇ 頑張る企業 ◇

社内に保育施設を設置し仕事と子育ての両立を支援 有限会社愛の里(福崎町)

(代表者:吉識順平 事業内容:介護事業)

同社では、仕事と育児が両立できる職場環境整備の一環として平成22年9月に事業所内保育施設「愛の里保育所」を開設しました。



施設は土日、祝日の利用も可能で、職員からは「いつでも子どもを預けることができ、安心して働くことができる」「遅い時間の勤務や、急な用事の時にも対応してもらえ嬉しい」と大変喜ばれています。

このような取組は、出産・子育てによる離職者の減少、職場への定着、さらには求職者の職場選択におけるプラス効果につながる事が期待されます。

※編集部からのお知らせ

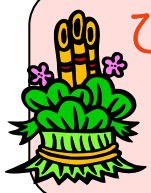
「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部子ども局少子対策課)：
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご子育て応援メールも 好評配信中です！

子育てに役立つ身近な情報を月3~4回配信しています。
regist@magazine.hyogo-kosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。

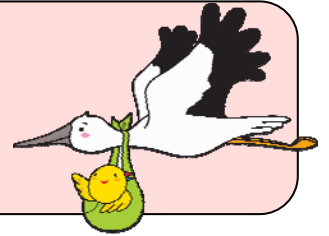




ひょうご

子ども未来通信1月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



子育て3ひろば交流会を開催 まちの子育てひろば・子どもの冒険ひろば・若者ゆうゆう広場

「子育て3ひろば交流会」が12月3日、神戸市内で開催され、ひろば関係者等約160名が参加しました。

冒頭、井戸知事から「日頃の活動成果を大いに披露し、情報共有いただくと共に、活動の創意工夫を活かしてほしい」との挨拶があり、続いて3つのひろばの代表者6名によるパネルディスカッションが行われました。出席者からは、「体験講座などを開催し新しいスタッフを確保している」「顔の見える関係を築くことで参加者が増えたり継続的な活動が可能になる」など、今後の取組の参考となる情報交換が行われました。

(問) 県少子対策課 078-362-4185



県内10か所に地域出会いサポートセンターがオープン

12月1日、県内10か所に「地域出会いサポートセンター」が一斉オープンしました。今回、県及び兵庫県青少年本部では、個別にお見合い紹介を行う「はばたん会員」制度を新たに設け、各センターに配置された「このとり出会いサポーター」が会員登録の呼びかけや、希望者にはお見合いの調整、交際中のアドバイスなどを行います。詳細は最寄りの各センターまでお問合せください。



神戸出会いサポートセンター
(Tel 078-381-6820)



阪神南出会いサポートセンター
(Tel 06-6481-7370)



阪神北出会いサポートセンター
(Tel 0797-26-7351)



東播磨出会いサポートセンター
(Tel 078-920-9337)



北播磨出会いサポートセンター
(Tel 0795-38-8022)



中播磨出会いサポートセンター
(Tel 079-240-7005)



西播磨出会いサポートセンター
(Tel 0791-58-1311)



但馬出会いサポートセンター
(Tel 079-662-7701)



丹波出会いサポートセンター
(Tel 0795-78-9130)



淡路出会いサポートセンター
(Tel 0799-24-2717)

はばたん会員大募集

個別のお見合い紹介の機会を提供する「はばたん会員」(登録料3,000円)を募集しています。詳しくはお近くの地域出会いサポートセンターまで

(問) (公財)兵庫県青少年本部
ひょうご出会いサポートセンター078-891-7415

子育て応援ネット推進協議会・関西ブラジル人コミュニティCBKが チャイルド・ユースサポート章を受章

内閣府が子どもや若者の育成支援活動などを広く紹介するために新設した「チャイルドユースサポート章」を、本県から「子育て応援ネット推進協議会」と「関西ブラジル人コミュニティCBK」の2団体が受章しました。



県庁で行われた伝達式では、金澤副知事から北野美智子代表世話人、松原マリナアキズキ理事長に書状と盾が手渡され、「同章の第1号が兵庫から2団体も出たことを光栄に思います」と感謝と敬意を表しました。

受章団体と活動内容

子育て応援ネット推進協議会	登下校時の見守りやSO Sキャッチ活動を展開
関西ブラジル人コミュニティCBK	在日ブラジル人児童生徒の学習を支援

(問) 県少子対策課 078-362-4232

中学・高校生向けDV防止啓発パンフを作成

県教育委員会では、DV(ドメスティック・バイオレンス)防止に向け、青少年期からの正しい理解を図るため、防止啓発パンフレット・携帯カード・指導の手引きを作成し、全中学・高校・特別支援学校等の生徒・保護者・教職員に配付しました。

生徒向けのパンフレットには四コマ漫画を盛り込むなど分かりやすく工夫したほか、携帯カードには、生徒がいつでも電話相談できるよう「ひょうごっ子悩み相談センター」「少年相談室ヤングトーク」等の連絡先を記載しています。以下の URL から PDF データをダウンロードできます。 <http://www.hyogo-c.ed.jp/~jinken-bo/dvbousi-pamph/index.html>

(問) 県教育委員会人権教育課 078-362-3793

県医師会との協働による子育て支援フォーラム 「予防接種で子どもを守ろう！」を開催

県と県医師会が協働で「子どもの病気と予防接種」をテーマに、12月11日、神戸市内でフォーラムを開催し、乳幼児の保護者、幼稚園・保育所関係者ら約230名が参加しました。

西尾利一先端医療センター病院長による基調講演やパネルディスカッションが行われ、「ワクチン接種により未然に防げる感染症は多い」「接種時期や同時に接種できるワクチンについては、かかりつけ医に相談を」などと参加者に呼びかけました。

乳幼児の主な感染症のうちワクチンで防げる病気

区分	病 気
ウイルス	麻疹(はしか)、風疹、水痘(水ぼうそう)、おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)、インフルエンザ、ロタウイルス腸炎、A型肝炎、B型肝炎、ポリオ(小児まひ)、日本脳炎
細菌	百日咳、ジフテリア、破傷風、インフルエンザ菌b型(Hib)感染症、肺炎球菌感染症、結核、コレラ

(フォーラム資料より抜粋)



(問) 県少子対策課 078-362-4185



多子世帯保育料軽減事業を実施しています

県では、多くのお子さんがある世帯の経済的負担軽減を図るため、保育所・幼稚園等に
通うお子さんの保育料の一部を助成しています。詳しくは下記までお問合せください。

対象世帯	同一世帯で18歳未満のお子さんが3人以上おり、かつ第3番目以降のお子さんが、現在、認可保育所、幼稚園、認定こども園、事業所内（院内）保育施設等を利用している世帯
所得制限	保育所：同一世帯の平成21年の所得税額が40,000円未満 幼稚園等（保育所以外）：同一世帯の平成22年度の市町民税所得割額が55,600円未満
助成金額	月額6,000円を超える保育料に対して ・3歳未満児では、月額4,500円を限度に補助 ・3歳以上児では、月額3,000円を限度に補助
申請について	<p><保育所・公立幼稚園> 対象の方にはお住まいの市町から申請についてのお知らせがあります。</p> <p><私立幼稚園・認定こども園・事業所内保育施設> 各園を通してお知らせします。 今年度の申請書受付時期は12月～2月となっています。 (申請の時期はお住まいの市町、施設の種類によって異なります)</p>



(問) 県児童課 078-362-3215

県立塚口病院

ダウン症児の「赤ちゃん体操教室」を実施しています

県立塚口病院小児科では、先天性の染色体異常(主にダウン症)に起因する病気や障害をもつ赤ちゃんを対象に、体操教室を月2回実施しています。

同教室では、両親が自信を持って子育てができるよう、親子体操を通じた健康管理(医療)と体操指導(療育)を並行して実施しているほか、心理発達教育等の講義や育児相談も行っています。

参加を希望される方は、主治医の先生の許可を得た後、医療機関を通じて同院地域医療連携室までお申し込みください。



(問) 県立塚口病院 地域医療連携室 06-6429-5321

「こどもの睡眠と発達」フォーラムを開催

11月に策定した「子どもの生活習慣づくり行動指標」の普及啓発に向け、「こどもの睡眠



と発達」をテーマに、同指標の策定委員でもある県立リハビリ中央病院三池輝久子どもの睡眠と発達医療センター長による講演会が加古川市(12/15)、神戸市(12/18)で開催されました。

三池センター長は、「睡眠が子どもの脳を成長させる」「子どもの睡眠不足が学力低下や不登校に繋がる」など、睡眠障害の予防の重要性について呼びかけました。

1/15(土)には姫路市でも開催予定です。

日時：平成23年1月15日(土) 13:30~15:00

場所：姫路職員福利センター3階大会議室
(姫路市北条1-98)

申込：1月8日までに氏名、住所を記入の上こどもの館へ郵送またはFAX(詳細は以下HP)
<http://www.kodomonoyakata.jp/pdf/kouenkai.pdf>

(問) 県立こどもの館 079-267-1153

参加者募集

第8回

全国おやじサミット in ひょうご

「集まれ！家庭や地域でがんばるお父さん！」と題した基調講演や分科会を開催し、全国の「父親・おやじの会」などと情報共有や交流を深めます。（参加費無料）

◇日時：平成23年2月12日（土）12:30～17:00

◇場所：イーグレひめじ

（姫路市本町68番290）

◇内容：北島尚志氏（NPO 法人あそび環境 Museum アフタフ・バーバン理事長）による基調講演「おやじよ、響聞者たれ」、6つの分科会 など

◇申込：ひょうごおやじネットワーク事務局

（県男女家庭室、TEL 078-362-3169）

<http://oyajisummit-hyogo.seesaa.net/>

<NPOと行政の子育て支援会議>

子育て支援メッセ

NPO・地域団体、企業、大学、行政が一堂に会し、それぞれの子育て支援活動の紹介や、情報交換・交流を目的とする“子育て支援メッセ”を開催します。（参加費無料）

◇日時：平成23年2月26日（土）11:00～16:00

◇場所：兵庫県民会館 11階 パルテホール
（神戸市中央区下山手通4-16-3）

◇内容：第1部 11:00～（情報展示、親子で楽しむ体験遊び）、第2部 13:00～（子育て支援NPO大懇談会、講演）など

◇申込：第1部は申込不要、第2部は①所属・団体名②代表者名③参加予定人数④連絡先電話番号⑤活動エリア（市町など）⑥Eメールアドレス⑦主な活動内容を記載の上、FAXで県少子対策課まで（Tel078-362-4184 FAX078-362-3011）

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

夙川学院短期大学生が「食育かるた」を作成

夙川学院短期大学では、栄養士コースの授業の一環として、短大付属幼稚園と共同で食育に関する教育実践プログラムの開発に取り組んでおり、この度、学生が作画・文案を手がけた「食育かるた」を作製しました。同大では幼児期に楽しく食育を学ぶことができる教材の一つとして、今後積極的にPRしていきます。詳しくは下記までお問合せください。



また、同大では、今年度、10月から11月にかけて『子ども達の今』を新たな視点から考えよう！』をテーマに、まちの寺子屋師範塾を全5回開催し、多くの受講生が子育て支援や食育などについて学びました。

（問）夙川学院短期大学 0798-73-9132

やぶ市女性未来会議（養父市）

やぶ市女性未来会議（小松原貴美子代表）は、養父市八鹿町の商業施設「ショッピングタウンペア」2階に、県の助成制度を活用し「子育てほっとステーション ココニコ」を開設しました。

ココニコでは、キッズスペースや絵本、おむつ交換用ベッドなどを備え、冬の寒さが厳しい但馬地域で、親子が安心して楽しめる常設の遊び場を提供しています。

また、月に1回程度、子どものためのイベントを実施しました。11月には、「おもちゃの広場」を開催し、参加した子どもたちは、気に入ったおもちゃを手に取り、夢中になって遊んでいました。

同ステーションの利用時間は、毎日10時～17時です。お気軽にお立ち寄りください。



（問）やぶ市女性未来会議 079-662-7765

※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部（健康福祉部 子ども局 少子対策課）：
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

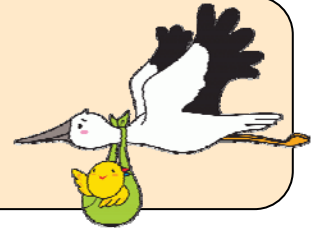
ひょうご子育て応援メールも好評配信中です！

子育てに役立つ身近な情報を月3～4回配信しています。
regist@magazine.hyogo-kosodate.jp (QRコードからも読取可) に空メールを送付し登録してください。



ひょうご 子ども未来通信2月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000008.html



平成22年度第2回 県・市町懇話会 **安心こども基金を活用した子育て支援強化を市町に要請**

知事及び県内の全市町長等が一堂に会し、幅広く意見交換を行う「県・市町懇話会」が1月20日、県公館で開催されました。

会議冒頭、井戸知事から、子育て支援に関連して「子どもの通院医療費の助成拡充について検討したい」とあいさつがありました。その他少子対策・子育て支援の推進に関して清原理事から、「安心こども基金を活用して、保育所・認定こども園、放課後児童クラブなどの積極的な整備をお願いしたい。また、ファミリーサポートセンターの立ち上げ等にも積極的に活用を」と働きかけました。

<安心こども基金>

子どもや子育てを社会全体で支えるために創設した基金。平成23年度までの延長が決定。

(問) 県少子対策課 078-362-4183



ひょうご縁結びプロジェクト

はばタン会員の申込が600人を突破 希望者にお見合い紹介

若者の出会い・結婚を支援するひょうご縁結びプロジェクトで、昨年12月より募集を開始したお見合い紹介をする「はばタン会員」の申込者数が1月末に早くも600人を突破しました。



会員になると、相手のプロフィールの閲覧ができ、こうのとりの出会いサポーターの仲介により、お互いが気に入れば、個別のお見合いをセッティングします。是非お申込ください。

はばタン会員大募集

個別のお見合い紹介の機会を提供する「はばタン会員」(登録料3,000円)を募集しています。詳しくはお近くの地域出会いサポートセンターまで

(問) (公財)兵庫県青少年本部
ひょうご出会いサポートセンター078-891-7415

1.17防災未来賞「ぼうせい甲子園」表彰式

子どもや学生が学校や地域で主体的に取り組んでいる防災活動を顕彰する1.17防災未来賞「ぼうせい甲子園」の表彰式が1月9日、県公館で開催されました。

6年目となる今年度は、小・中・高・大学の4部門に全国から計101団体の応募があり、グランプリには地域で家具転倒防止を呼びかけた徳島市津田中学校が受賞しました。県内から下記の2団体が入賞したほか、特別賞のはばタン賞には、アトリエ太陽の子(神戸市)など3団体が選ばれました。



県内の受賞団体

高校生の部 (優秀賞)	県立佐用高等学校	「豪雨災害の復旧から地域貢献、防災活動」
大学生の部 (奨励賞)	阪神淡路大震災写真調べ学習プロジェクト	「写真に写った被災者から受け継ぐ阪神淡路大震災」

(問) 県復興支援課 078-362-4335

みんなで予防しようインフルエンザ

県内でインフルエンザが「流行期」に入っています。

県感染症情報センターによると、県内199の定点医療機関あたりのインフルエンザ患者数は、平成23年第1週の2.33人から第3週(17~23日)は18.46人へ急上昇しています。また10歳未満が49%を占めるなど、子どもの感染割合が多数を占めています。

県では、保育所向けのDVD「インフルエンザの基礎知識」を作成し、インフルエンザの予防や対応などについて



DVD「インフルエンザの基礎知識」より

ての正しい知識の普及啓発を図っています。

手洗い・うがいなどの予防を行うとともに、感染が疑われる場合には早めに医療機関に受診しましょう。

予防のポイント



<外出後の手洗い等>

手洗いは手指など体に付着したインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法で、インフルエンザに限らず感染予防の基本です。

<適度な湿度の保持>

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度(50~60%)を保つことも効果的です。

<十分な休養とバランスのとれた栄養摂取>

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

<人混みや繁華街への外出を控える>

人混みや繁華街への外出を控えましょう。やむを得ず外出をして人混みに入る可能性がある場合には、不織布製マスクを着用しましょう。

<ワクチン接種>

インフルエンザワクチンは、罹患した場合の重症化防止に有効です。ただしワクチン接種後効果がでるまで2週間から1か月必要です。

(問) 県児童課 078-362-3199 県疾病対策課 078-362-3214

「タイガーマスク運動」県内でも



昨年末、漫画タイガーマスクの主人公「伊達直人」と名乗る匿名の人物から群馬県中央児童相談所にランドセル10個が送られました。

その報道がきっかけとなり、ランドセルや文房具などを児童養護施設に寄付する「タイガーマスク運動」が全国に広がっており、兵庫県でも児童養護施設等に同様の寄付が100件以上寄せられています。

全国児童養護施設協議会では、ご厚意へのお礼とともに「寄付をお考えの方は事前に施設にお問合せを」と呼びかけています。

児童養護施設とは・・・

児童福祉法に定められた児童福祉施設の一つで、災害や事故、親の離婚や病気、また不適切な養育を受けているなどさまざまな事情により、家族による養育が困難な2歳からおおむね18歳の子どもたちが家庭に代わり生活している施設です。

全国に579施設、県内に31施設が設置運営されています。

県内の児童養護施設への寄付の状況

施設数	件数	内容
27施設	116件	ランドセル72個、現金・金券1,761千円、文房具、お米、お菓子、ジュース、スポーツ用品等

(1月21日現在 県児童課調べ)

県内の児童養護施設へ寄付をお考えの方はこちらまでお問合せください。

兵庫県児童養護連絡協議会
電話 079-230-1212

神戸市児童養護施設連盟
電話 078-341-5897



ひょうごあそびの伝承師交流大会(1/15)

県では、親子が伝承あそびで共に楽しみながら、豊かな感性や思いやりなどを育む手助けをする「ひょうごあそびの伝承師」を養成しています。

1月15日には、神戸市内で伝承師の交流大会を開催し、新たに259名を認定。実践活動発表後の講演では、NHK教育テレビ「にほんごであそぼ」わらべうたコーナー監修の近藤信子さんが実践指導を行い、参加者にわらべうたの楽しさを伝えました。

伝承あそびのいいところは？

- わらべうたを歌うとリラックスできるので、子育て中の母親のストレス解消にも良い。
- 伝承あそびは笑うことが多く、子どもの成長につながる。
- いろいろな人が関わることであそびに広がり生まれる。 など

(交流大会での発表より)



(問) 県立こどもの館 079-267-1153

ひょうごユースケアネット支援機関ナビを開設

ひきこもり、不登校等課題を抱える子ども・若者を支援する「ひょうごユースケアネット推進会議」では、この度、新たに県のホームページ上に「ひょうごユースケアネット支援機関ナビ」を作成しました。この支援機関ナビにより、悩みを抱える子ども・若者やご家族が専門支援機関や相談窓口等を容易に探すことができるようになります。

既設の専門電話相談「ひょうごユースケアネットほっとらいん相談」(専用ダイヤルTEL078-977-7555)とあわせ、ぜひご活用下さい。詳しくは以下のHPまで。

http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac12/ac12_000000046.html

支援機関ナビ

検索



(問) 県青少年課 078-362-3141

「未来の親大集合 みんなで楽しむ子育て講座」(1/23)

父親による子育てや地域活動への参画を促し、地域でのネットワークづくりを支援するため、県内4か所でリレー開催している「おやし元気サミット」が1月23日豊岡市民プラザで開催されました。

小崎恭弘さん(神戸常盤大学短期大学部准教授)、睦美さん(保育士)夫妻による楽しい子育てについての講話、育メン3名の事例発表の後行われたフリーディスカッションでは、「今は『育メン』が普通になってきたが、社会に根付かせるには地道な活動しかない」などの熱い議論が交わされました。



(問) 県男女家庭室 078-362-3169

参加者募集

シンポジウム 輝いて 一兵庫・神戸から

- ◇日時：平成 23 年 2 月 18 日（金）13:30~16:30
- ◇場所：神戸国際会議場メインホール
（神戸市中央区湊島中町6-9-1）
- ◇内容：基調講演（作家 桐嶋洋子氏 テーマ「子育てほどおもしろい『旅』はない」、パネルディスカッション（テーマ「子どもの笑顔があふれる社会」）
- ◇申込：所属、氏名、住所、電話、FAX を記載の上、シンポジウム運営事務局（FAX078-335-0357）まで（参加費無料）
- ◇定員：700 名（先着順）
- ◇問合せ：シンポジウム運営事務局 電話 078-335-2880
パネルディスカッション終了後「交流会」（有料）を開催します。

子どもたちの輝く未来を創るひょうごの大会

子どもたちのよりよい生活習慣づくりについて考えるとともに、本年度策定した子どもの生活習慣づくり行動指標の普及を図ります。

- ◇日時：平成 23 年 2 月 20 日（日）13:30~16:30
- ◇場所：県立こどもの館（姫路市太市中 915-49）
- ◇内容：モデル実践保育所・小学校による発表、伊藤篤神戸大学大学院教授による基調提案、パネルディスカッション など（参加費無料）
- ◇申込：インターネット(<http://www.kodomonoyakata.jp/>)のフォームまたは、名前、所属、住所、電話、FAX・メールアドレスを記載し、郵送・FAX で申し込み。
- ◇締切：2 月 6 日（日）（郵送は当日消印有効）
- ◇問合せ：県立こどもの館 電話 079-267-1153

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

網干片岡庄屋塾 寺子屋教室（姫路市）

「網干片岡家の保存・活用を考える会」（加藤三郎代表）では、姫路市網干区にある古民家「片岡家」を改修して、子育てほっとステーション「網干片岡庄屋塾 寺子屋教室」を開設しています。

教室では、中高年世代の運営スタッフが手作りのプリントを使って、子どもたちに「読み書き」「計算」の学習支援を行うとともに、紙芝居、本の読み聞かせ、カルタとりなど、昔ながらの遊びや季節行事などを体験できる場を提供しています。

利用時間は、毎月第 2・第 4 土曜日の午前 9 時半～11 時です。



（問）網干片岡家の保存・活用を考える会
079-272-0791

◇ 頑張る企業 ◇

院内に保育施設を設置し仕事と子育ての両立を支援

医療法人社団中井病院（神戸市）

（代表者：中井正信 事業内容：医療業）

同院では、子育て中の職員が安心して働き続けることができる職場環境づくりに向け、平成 22 年 12 月に院内保育ルーム「エンゼル」を開設しました。



これまで職員からは、「育児のために勤務時間の制限がある」「希望の保育所に入所できず思うように働けない」といった意見がありましたが、院内保育ルーム開設により「安心して子どもを預けることができる」「送迎の負担が軽くなる」といった満足の声が上がっており、同院では今後の人材確保と職員の定着に向け、大きな期待を寄せています。

※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部（健康福祉部 子ども局 少子対策課）：
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

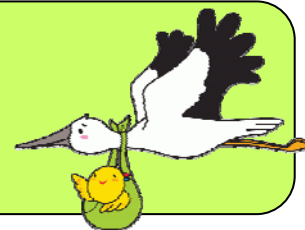
ひょうご子育て応援メールも好評配信中です！

子育てに役立つ身近な情報を月 3~4 回配信しています。
regist@magazine.hyogokosodate.jp (QR コードからも読取可) に空メールを送付し登録してください。



ひょうご 子ども未来通信3月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



平成23年度県予算案 少子対策・子育て支援を充実強化

県では、2月14日、一般会計総額2兆1285億円となる平成23年度予算案を発表しました。

少子対策・子育て支援に関連する予算額は、こども医療費助成の拡充や、「まちかど子育て相談員」の養成、「子育て“情報楽座”」の開設支援や児童虐待対策など約854億円で、同予算案は、現在開会中の第308回2月定例会議での議決を経て成立となります。



平成23年度予算案を発表する井戸知事

<23年度の少子対策・子育て支援関係の主な事業案>

()は23年度予算額

子育て版ケアマネジャー 「まちかど子育て相談員」 を200名養成!

子育て家庭の相談に乗り、どのような子育て支援サービスを利用したいかを把握。その家庭にふさわしい支援サービスのメニュー作成など、きめ細かいサポートを実施します。

(5,067千円)



~子育て支援活動の情報基地~ 「子育て“情報楽座”」 150か所開設を支援!

中高年や子育てを終えた方が子育て支援活動に気軽に参入できるよう、子育て支援情報の提供や、子育て支援を行いたい人と子育て支援グループとの出会いの場づくりを進めます。

開設場所：子育て支援NPO、
子育てほっとステーション、
県民交流広場 など
(5,287千円)

こども医療費の助成を 通院医療費まで拡大!

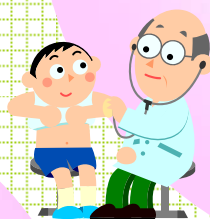
病気やけがで医療保険による給付が行われた場合に、その自己負担額の一部を助成します。これまでの入院に加え23年10月からは通院についても助成の対象となります。

事業	対象	助成内容
入院医療費	小学4年~ 中学3年	自己負担額の1/3を助成 (公費負担割合：県10/10)
新通院医療費	小学4年~ 6年	自己負担額の1/3を助成 (公費負担割合：県1/2,市町1/2)

(所得制限あり)

医療費の助成を受けるには、お住まいの市(区)役所、町役場で助成を受ける手続きが必要となります。

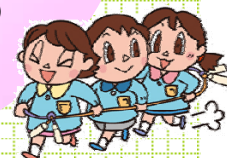
(276,802千円)



保育所の新設・増設・定員 見直し等により23年度2500人の 定員を増加!

保育需要に対応するため、保育所の新設や増改築、都市部における賃貸物件による保育所や分園等の整備を推進します。

(新設14か所 定員増15か所)
(2,628,551千円)



仕事と生活の両立 支援に取り組む企業を応援！

結婚や出産、育児を理由に離職した方を再雇用した事業主に一人あたり最大 50 万円を助成します。(23 年度から対象を千人以下の事業主に拡大)(19,500 千円)

育児休業等を取った人の代替要員を確保した事業主に一人あたり最大 100 万円を助成します。(23 年度から製造・運輸・卸売・小売業については支給要件を従業員 50 人以下の事業所に拡大)
(100,000 千円)

地域「孫育て」事業を 全県で展開！

おじいちゃん、おばあちゃん世代が育児や地域の子育て支援活動に積極的に参加いただけるよう、現在の子育て事情や孫育てへの関わり方を学ぶセミナーや、世代交流事業などを全県で展開します。(2,494 千円)



高校生と子どもとのふれあい体験を実施！

県立高校生が玩具や保育教材を製作し、子どもとのふれあい体験を実施します。

実施校：おもちゃ交流(13 校)、絵本交流(23 校)、スポーツ交流(11 校)、英語交流(7 校)
(14,012 千円)



大学生による「学生 子ども応援隊」を立ち上げ！

子どもたちを支援するボランティア活動のための研修会の開催や、活動の場等の情報提供などの仕組みづくりを行います。

活動場所：子どもの冒険ひろば、
児童養護施設 など
(1,990 千円)

こども家庭センターに 心理担当職員を増員！

中央・西宮・川西・姫路の各こども家庭センターに心理担当職員を配置(7 名)し、虐待をした親や家族へのアセスメント(診断・評価)を行う体制を強化します。(17,638 千円)

こども家庭センター3か所を建て替え！

児童虐待相談の増加や深刻化に対応するため、築 40 年以上経過し、老朽化が進んでいる西宮、姫路、豊岡の3つのこども家庭センターを建て替えます。(1,018,769 千円)

児童家庭支援センターを新たに 阪神北地域に設置！

児童養護施設に付設し、24 時間体制で相談に応じる児童家庭支援センターを阪神北地域に設置します。(5 か所→6 か所)
(56,106 千円)

(問) 県少子対策課 078-362-4183

「新ひょうご子ども未来プラン プログラム 2011」を推進

県少子対策本部は、県の予算案の発表にあわせ、23 年度の少子対策・子育て支援の取組をまとめた「新ひょうご子ども未来プラン プログラム 2011」を発表しました。

同プログラムでは、「良きおせっかい社会による協働の少子対策・子育て支援」をめざし、個々の家庭状況に応じた子育て支援サービスの利用促進や、まちぐるみの子育て支援の推進などに向けた県の主な施策を、新規・拡充事業を中心に、わかりやすく掲載しています。詳しくは下記まで。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/contents/000173103.pdf>

(問) 県少子対策課 078-362-4183

新ひょうご子ども未来プラン プログラム2011の推進

～良きおせっかい社会による協働の少子対策・子育て支援～

平成 22 年の県の出生数は前年比 111 人増の 48,541 人となりました。これにより、H18～H22 の出生総数は 245,055 人となり、前プランの出生数目標をほぼ達成しました。

H18	H19	H20	H21	H22	前年比
49,573 人	49,289 人	49,222 人	48,430 人	48,541 人	+0.23%

県では、引き続き、平成 22 年度から 26 年度を計画期間とする「新ひょうご子ども未来プラン」に沿って年度別の行動プログラムを策定し、社会情勢の変化や新たな課題に対応した取組を進めます。

「プログラム 2011」では、「良きおせっかい社会による協働の少子対策・子育て支援」をめざし、子ども医療費助成の拡充や、子育て家庭の個別相談にのる「まちかど子育て相談員」の養成、子育て支援情報の拠点となる「子育て情報楽屋」の新設に加え、児童虐待防止対策として、こども家庭センターの環境整備・体制強化や児童家庭支援センターの増設等にも取り組むなど、地域団体・NPO、企業、職域団体・市町等と協働し、集中的な少子対策・子育て支援を進めます。

取組の
6
つ
の
柱

- I 子どもを産み育てる
 - ・「まちかど子育て相談員」等による個々の家庭状況に応じた子育て支援サービスの利用促進
 - ・「まちの子育てひろば」「乳幼児子育て応援事業」等在宅の子育て家庭支援の充実強化
 - ・乳幼児ハイリスク家庭等の早期発見・対応や悪化による情報提供・指導など支援の強化
- II 子どもの成長を支える
 - ・保育所、幼稚園、認定こども園の拡充
 - ・子ども医療費助成制度の拡充
 - ・放課後児童クラブの拡充による小1の登校対策の一層の強化
- III 豊かな人間性を育む
 - ・「学生子ども応援隊」や「高校生子どもとのふれあい支援事業」など高校生・大学生の子育て体験の拡充
 - ・「子どもの冒険ひろば」「若者ゆうゆう広場」の一層の充実・推進
- IV 若者の自立を支える
 - ・「若者ごと倶楽部」など若年求職者の就業支援
 - ・「ひょうご縁結びプロジェクト」による出会い・結婚支援の本格実施
- V 子育てと仕事の両立を支援する
 - ・ひょうご仕事と生活センターのワンストップ相談、相談・実践支援、各種助成事業の推進
 - ・「女性就業いきいき応援事業」等再就業への支援
- VI 「良きおせっかい社会」による家庭応援
 - ・子育て支援情報の拠点となる「子育て情報楽屋」など、まちぐるみの子育て支援の推進
 - ・「地域「孫育て」全県推進事業」など祖父母世代による子育て支援の推進
 - ・地域団体、職域団体との協働による子育て支援拡充
 - ・こども家庭センターの環境整備や児童家庭支援センターの増設等、児童虐待防止対策の充実強化
 - ・DV防止及び被害者支援の充実強化

女性経営者の視点から少子対策・子育て支援を考える シンポジウム「輝いて―兵庫・神戸から―」を開催

神戸商工会議所「女性経営者倶楽部」の主催によるシンポジウムが2月18日、神戸市内で開催され、県内の女性経営者など約700人が参加しました。



作家の桐島洋子氏が「子育てほどおもしろい『旅』はない」と題して基調講演を行い、「多少の逆境の中で子育てを行う方が、親子共にたくましく成長できる」と自身の経験を踏まえつつ来場者に語りかけました。

また、交流会では、井戸知事が「婚活支援や男女の新たな出会いを積極的にサポートしていきたい」とあいさつしました。

(問) 県経営商業課 078-362-3313

食育シンポジウムを開催(2/1)

県、県保育協会、県私立幼稚園協会は、食育や地産地消の推進を目的とするシンポジウムを2月1日、神戸市内で開催し、関係者等約260人が参加しました。

「子どもの未来と食育」と題して基調講演を行った保田茂神戸大学名誉教授からは、「子どもの頃からの米食が成人病の予防にも効果がある」というデータが紹介されたほか、4か所の保育所・幼稚園から取組事例の発表が行われました。



(問) 県児童課 078-362-3199

生活習慣づくりに向けた取組を発表 「子どもたちの輝く未来を創るひょうごの大会」

県では、子どものよい生活習慣づくりに向けた取組を進めています。

2月20日には、県立こどもの館で、今年度モデル実践に取り組んだ保育園、小学校からの発表と、基調提案・パネルディスカッションが行われ、「野菜の栽培や収穫、調理を楽しみ、『食』への関心が高まったことで、好き嫌いや給食の食べ残しが減った」など取組成果が報告されました。

また、「手づくり絵本コンクール」の表彰も行われ、金澤副知事より知事賞を受賞した姫路市立増位小学校2年の野元武斗君ら2人に賞状と盾が手渡されました。



(問) 県立こどもの館 079-267-1153

第8回全国おやしサミットinひょうご(2/12)

男性の子育てや地域活動への参画促進をめざした同サミットが2月12日、姫路市のイーグレひめじで開催され、全国から約350人が参加しました。

基調講演と6つの分科会が行われ、県内外のおやじの会の代表が子どもたちの体験活動や見守り活動などの取組を報告しました。



第6分科会では「ダンボールでダイナミックあそび」と題したプログラムが行われ、体験した参加者からは「安全で実践しやすいので、是非活動に使っていきたい」などの感想が寄せられました。

(問) 県男女家庭室 078-362-3169

参加者募集



子育て応援元気アップ賞表彰式と「子どもの健康と環境」についての講演

県立こども病院名誉院長の中村肇先生による講演「子どもの健康と環境」を開催します。

なお、当日は、先進的な地域の子育て支援活動に取り組む企業・団体等を表彰する「子育て応援元気アップ賞」の表彰式が行われます。

◇日時：平成23年3月25日（金）14:00～15:30

◇場所：兵庫県公館第1会議室
（神戸市中央区下山手通4-4-1）

◇申込：氏名、電話を記載の上、少子対策課へFAX（078-362-3011）またはメールで3/11（金）までにお申込ください（参加無料）

◇問合せ：県少子対策課（電話078-362-4232、
メール shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp）

第19回 ひょうごの食シンポジウム ～あらためて食の大切さを考える～

JA兵庫中央会では、食と健康の大切さについて考えるシンポジウムを開催します。当日は、有機農産物を使ったお弁当も販売します。（要事前申込）

◇日時：平成23年3月12日（土）
午前の部（10:30～12:00）
講演「母乳育児は、“日本の米文化”を守る」

午後の部（13:00～16:00）
講演「“平成の開国”とおさかな事情」

◇場所：兵庫県農業共済会館11階大ホール
（神戸市中央区海岸通1番地）

◇定員：200人（先着順）（締切：3/4（金）必着）

◇申込：氏名、住所、電話、FAX、年齢、職業、JA会員・非会員の別、弁当の要不要を記載の上、JA兵庫中央会までメール（gga00620@nifty.com）またはFAX（078-333-6503）

◇参加費：1500円（弁当不要の場合は500円）

◇問合せ：JA兵庫中央会（電話078-333-6056）

<http://homepage3.nifty.com/syokuken/>



地域団体・NPO・企業等の活動紹介

子育てほっとステーション「つくしんぼ」（川西市）

能勢電鉄畦野（うねの）駅前にある同施設は、空き店舗を改修して新しく開設された、親子でくつろげるスペースです。店舗からも近く、授乳コーナーやおむつ交換台、給湯設備も整っているため、買い物途中の休憩も兼ねて、毎日、多くの親子が訪れています。

毎週木曜日には「まちの子育てひろば」として、親子クッキングやベビーマッサージなども行っています（要事前申込）。

利用時間は、毎週月曜から金曜の9時～17時です。（祝日除く）

お気軽にお立ち寄りください。



（問）特定非営利活動法人つくしんぼ保育所
072-794-0602

◇ 頑張る企業 ◇

社内に保育施設を設置し仕事と子育ての両立を支援

株式会社エヌピーシー（神戸市）

（代表者：尾野俊朗 事業内容：人材派遣業）

同社は、幼い子どもを育てている従業員が、安心して子育てと仕事を両立できるよう、平成23年2月に事業所内保育施設「NBCキッズクラブ」を開設しました。



駅から徒歩1分のビルの1フロアを借り上げ設置した同施設は、県の「駅前等設置型」補助の適用第1号として賃料の一部が助成され、ゆとりとした保育室を備えています。

また、夜11時までの延長保育も行っているため、変則勤務で退社が遅くなる従業員から大変喜ばれています。

※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部（健康福祉部こども局少子対策課）：
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご子育て応援メールも好評配信中です！

子育てに役立つ身近な情報を月3～4回配信しています。
regist@magazine.hyogo-kosodate.jp（QRコードからも読取可）に空メールを送付し登録してください。

